

令和元年度第1回半田市図書館協議会議事録

開催日時	令和元年6月5日(水)	14時00分～15時30分
開催場所	半田市立図書館 第3会議室	
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 辞令伝達式</p> <p>3. 挨拶</p> <p>4. 正副会長の選任</p> <p>5. 【報告事項】</p> <p>(1) 平成30年度図書館利用状況等について</p> <p>(2) 令和元年度予算及び図書館活動について</p> <p>(3) 半田市子ども読書活動推進計画について</p> <p>6. 【その他】</p>	
出席委員 (欠席委員)	<p>(会長) 前田佳男、(副会長) 内藤菜穂</p> <p>(委員) 横井 学、杉江則人、竹内元宏、小島典子、新美正巳、小宮山清子 榊原伯明</p> <p>(欠席) 石川幸子 ※敬称略</p>	
教育部	教育長 鈴木慶光、教育部長 岩橋平武	
事務局	図書館長 山下由美、戸田豊志、田村元成、竹内由香、鈴木雄介	
次 第	議事概要	
1. 開会		
2. 辞令伝達式	教育長より内藤菜穂氏、杉江則人氏、竹内元宏氏へ辞令を伝達する。	
3. 挨拶 (教育長)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、様々な事業に取り組んでいるが、まだまだやれることがあるのではないかと感じている。委員の皆様には、図書館運営についてのお知恵をいただきたい。 ・図書館の事業を支援するため活動いただいているボランティア団体さんの力が大きい。 ・小学校では朝の読書活動を行っており、読書をすることで落ち着いた気持ちで1時間目を迎えることが出来ている。 ・教育部では、「地域とともに」をキーワードにコミュニティスクールの取り組みをしている。また、開かれた教育課程、開かれた学校を目指す取り組みを進めている。 ・誰もが行きやすい図書館にするため、開かれた図書館を目指すべき。 <p>※公務のため挨拶後退席。</p>	

(教育部長)	・半田市には外国人が約4,000人おり、そのうち学校教育で支援の必要な方が約200人いる。図書館においては、知多地域の会議でも話題となっていた運営方法や施設老朽化対応等が課題となっている。
4. 正副会長の選任	会長 前田佳男氏、副会長 内藤菜穂氏を選任。
議長（会長） 5、報告事項 (1) 平成30年度図書館利用状況等について	事務局より図書館概要に沿って説明。 ※質問は特になし。
(2) 令和元年度予算及び図書館活動について	事務局より図書館概要に沿って説明。 ※質問は特になし。
(3) 半田市子ども読書活動推進計画について	事務局より口頭説明（資料なし）。次期計画を策定する上で、再度、内容を見直したいため、平成30年度第2回半田市図書館協議会の際に配付したアンケート案を一旦白紙としたい。次回の協議会で諮問、スケジュール案等を提示させていただく予定。 ※質問は特になし。
【その他】	（委員） 図書館資料は年に何冊購入しているのか。 （事務局） P13に記載している通り、30年度は18,288冊購入している。 （委員） P15の図書館事業参加者は増加しているが、入館者数は減少している。実施している事業が、今後入館者数の増加に結びつけばよいと思う。 （委員） 公民館にブックポストが設置されているが、公民館以外にはどこにあるのか教えてほしい。 （事務局） 市役所、CLACITY、有脇児童館、神戸公民館、岩滑公民館等。 （事務局） P7に全箇所が記載されている。貸出文庫のある公民館には基本的に設置されている。 （委員） 利便性向上のため、もう少し設置箇所を増やしてもよいのではないか。

(事務局)

1台当たり50万円ほど設置費用がかかることと、返却図書回収に伴う委託費用も増加するためすぐには設置出来ない。

(委員)

教育部長の挨拶にあった多文化共生の件で、実際はどこの国が多いのか。

(教育部)

ブラジルなど、ポルトガル語の国が多い。

(委員)

どこの国でも対応出来るように開かれた図書館を目指すべきではないか。そのために(外国人向けの)小さな窓口でも設けたら、周りから凄いとされるのではないか。

(教育部)

半田市では、最近、外国人生活ガイドブックの改定を行い、その中では図書館のことも触れている。

(事務局)

20年ほど前、外国語版の「図書館利用の手引き」を作成した。

(委員)

あかちゃんとしょかんでの読み聞かせの時に、毎回1～2組は外国の方を見かける。どう対応すればよいか、今は思いつかないが、今後、何か取り組んでいただけるとよい。

(委員)

今、図書館が課題としていることは何か？

(事務局)

開架・閉架書庫ともに一杯で、空きスペースが無い。本は貸出・返却で動くため書庫は多少の余裕を持っておかないといけないが、それが出来ていない状況である。

(教育部)

昭和59年開館で、老朽化が激しい。博物館も含めて建て替えの議論や運営方法の検討など課題はある。議会でも質問を受けている。

(委員)

蔵書検索では、全ての本が検索できるのか。

(事務局)

和装本など、特別なものでなければ検索できる。

(委員)

インターネット検索のアクセス数は分かるのか。

(事務局)

予約数は分かるが、アクセス数は分からない。P17 にインターネット予約の詳細が記載されている。

(委員)

P30 にベストリーダーとあるが、ワーストリーダーはあるのか。

(事務局)

ベストリーダーのように表や記録としては残していないが、貸出回数の少ないものなどは閉架書庫へ移動していく。

(委員)

開架・閉架書庫が一杯という状況を先ほど聞いたが、そのような状況であれば図書の購入の仕方を考えるべきである。

(委員)

P8 に記載されている製本ボランティア葉さんの修理冊数が 436 冊とあるが、損傷したケースというのはどのようなものがあるのか。例えば、子どもが破ってしまった場合などはどのような対応をするのか。

(事務局)

他図書館であったような本を切られた等、故意に損傷するようなケースは少ない。児童書の修理は確かに多いが、簡単に修理できるものは職員が行う。また、修理不能の場合は弁償していただくこともある。

(事務局より事務連絡)

(会議終了 午後 3 時 30 分頃)